

「政策の目標」	政策目標 2 - 5 : 関税等の適正な賦課及び徴収	
	評価意見	
評価基準ごとの審査		評価の判断理由等
1 「政策の目標」の達成度 A 達成に向けて相当の進展があった。		<p>(基本的状況) 関税等の適正な賦課及び徴収を確保するため、輸入者等への積極的な情報提供等を通じて納税環境の整備を図る必要がある。</p> <p>(18年度の運営概況) 18年度は、タイムリーな情報の提供及び内容の充実に努め、ホームページの構成等の見直しを行った結果、アクセス件数（英語版）及び訪問数が増加した。 税関相談に即日で対応した割合については、目標の100%には達しなかったが、99.8%と極めて高い割合である。 職員の法令知識・商品知識の充実策に取り組んできた結果、税関相談についての利用者満足度は51.4%と昨年度実績（46.1%）を上回る良好な結果が得られた。 事前教示については、定期的に実施状況を把握し、進行管理票による適切な日程管理等の迅速な対応に努めた結果、文書による照会に対して30日以内で回答した割合は、99.6%と昨年度（95.8%）を上回る極めて高い割合となった。平均処理日数も大幅に（3.0日）短縮されるなどの改善が図られた。 口頭による照会に対して即日で対応した割合についても、99.8%と引き続き極めて高い割合となっている。卓越した着想・手法等による非違発見件数は、24件と昨年度（22件）以上の実績となった。</p> <p>(達成度に係る評価の理由等) 各業績指標はほぼ達成されており、また、税関相談や事前教示等の改善が図られている。これらを総合的に勘案することにより、「A 達成に向けて相当の進展があった。」と評価した。</p> <p>(今後の課題) 税関ホームページの更なる構成の見直し、掲載情報の充実等を通じた納税環境の整備の充実を引き続き図る必要がある。なお、アクセス件数（日本語版）の減少については、トップページを経由せずに個々のページに直接アクセスしているためと考えられるため、19年度実施計画においては、トップページへのアクセス件数からホームページ全体のアクセス件数にかえている。また、原産地認定、関税分類及び関税評価等の専門性の高い業務の充実等により、適正な納税申告の確保を一層図る必要がある。</p> <p>(事務運営プロセスに係る評価の理由等) (適切性) 申告納税方式の下での関税等の適正な賦課及び徴収を確保するため、情報提供、税関相談、事前教示等の諸施策を適時適切に実施している。</p> <p>(有効性) ホームページによるタイムリーな情報提供や構成の見直し、税関相談への的確な対応のための職員の法令知識等の充実、事前教示の適切な日程管理等を着実に実施し、改善が図られている。</p> <p>(効率性) ホームページの構成の見直しや事前教示における日程管理など効率的な業務運営が実施されている。</p> <p>(結果の分析の的確性に係る評価の理由等) 税関手続等について多くの業績指標を掲げ、アンケート調査等により実績を適切に計測した上で、各指標の実績（結果）について的確に分析している。</p> <p>(今後の提言等) (政策の改善) 指標の分析等を踏まえ、広報活動における情報提供の充実化や税関相談の利用者満足度の向上、通関審査等の的確な実施及び通関業者に対する指導・監督の充実を提言している。</p> <p>(政策評価の改善) 19年度実施計画において、予算との連携を図る観点から、政策目標の見直しを行っている。</p>
業績指標	目標値	実績値
税関ホームページへのアクセス状況	増加 前年度 日本語版 525,423件 英語版 106,071件 訪問数 8,673,644件	日本語版 418,306件 英語版 116,925件 訪問数 9,343,542件
税関相談に即日で対応した割合	100%	99.8%
税関相談についての利用者満足度	向上 (前年度 46.1%)	51.4%
事前教示に一定期間内で回答した割合	文書 100% 処理日数 短縮 口頭 100% 前年度 処理日数 18.3日	文書 99.6% 処理日数 15.3日 口頭 99.8%
卓越した着想・調査手法等による非違発見事案の件数	増加 (前年度 22件)	24件
2 事務運営のプロセスの適切性、有効性、効率性		<p>適切であった。</p> <p>有効であった。</p> <p>効率的であった。</p>
3 結果の分析の的確性		<p>的確に行われている。</p>
4 当該政策や、政策評価システムの運用の改善への提言		<p>政策について有益な提言がなされている。</p> <p>政策評価について有益な提言がなされている。</p>
講評 (財務省の政策評価の在り方にに関する懇談会)		